

ちびっこ チャンピオン

「今年もがんばるぞ!!」

みはる保育園のなかよしたち

(上段左から)

にいおか はな こそん (6さい)
さくらい りゅうしょうくん (6さい)
やまもと ゆい のさん (6さい)
さかざき みか ぜさん (6さい)

(下段左から)

よなが いっ さくん (6さい)
やまざき ゆい さん (6さい)
やまもと すず さん (6さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは、お誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



くが 空輝くん
佐藤 (岩崎下) R2/1/2生

「かがまの暴れん坊! 妹と仲良くね。」



寅年なので「タイガーマスク」に登場願います。

覆面ヒーロー

草創教育長の「今月の一枚」

昭和四十年代の大人気のテレビアニメです。「タイガー...」の正体は伊達直人。悪役レスラー養成所「虎の穴」出身で、恵まれた子供たちをファイトマネーで救うために正統派に転身。裏切り者として次々に強敵にねらわれる、というストーリーです。途中、自分にしみついた汚い反則技が抜けなくて悩んだりします。ヒーローが自分のダークな部分に苦悩するところに哀愁が漂って、私は心ひかれました。確か最終回では、リングで覆面をはがされ素顔をさらしてしまうのです。この展開、草創少年にはかなり不満でした。ヒーローの正体は永遠に秘密にされるべきだ、という幼いなりの美学です。覆面ヒーローと言えば、それより前に「月光仮面」が登場していました。苦悩する「タイガー...」に比べて、「月光...」は、ヒーローとしてはあまりにも清く正しく美しくすぎて、もの足りなく思えました。祖父母にご相伴して見ていたものの、虫が好かなかったのが「水戸黄門」です。覆面はしてませんが、徳川御三家の元藩主という身分を隠して旅するわけですから、ある意味覆面です。いざとなったら正体を明かし、「本当はオレ様は偉いん



だぜ。控えおろう」と皆を土下座させるなんて、どうにも正義が鼻につくイヤミなじじいだね、と思ってしまうわけです。為政者は常に民衆の味方であれ、という願望が生んだつくり話だとは、重々知ってますが。正体は見えずに世の為人の為になりたい。これ自体はとても尊い志です。ところが、昨今横行するのは、ネット上でのSNSや匿名掲示板等での、正義をかたった個人攻撃、誹謗中傷。この、覆面をかぶった悪事は、何とも腹立たしく、情けない。人前では何一つ主張も感情表出もできないくせに、匿名の陰に隠れたとたん、欲求不満を暴走させる。その手口のいやらしさは水戸黄門の比ではありません。こんな人間を育ててしまった責任を、誰がどう負うべきなのでしょう。せめて「タイガー...」に、この悪者たちの覆面をひっぱがしてもらいたいものです。(教育長 草創 文人)